

広報

ひがしの

197号
6月1日号

連載

保古の湖用水物語
誕生100年記念

東野の人口 1638人 男:838人 女:800人 676世帯(R7.5.1現在)
4月1日との比較 総人口:+7人 男:+4人 女:+3人 +3世帯
令和7年4月1日~令和7年4月30日の東野の出生数 男:0人 女:1人 (恵那市全体 15名)



熱演される歌舞伎保存会の皆さん

「全国さくらシンポジウム」恵那開催 阿木川ダム湖で歌舞伎披露

4月4日・5日に「2025全国さくらシンポジウム」恵那が開催されました。

5日に行われた「桜の名所と三好学ゆかりの地を巡るツアー」では、阿木川公園にて東野歌舞伎保存会による伝統演目「白波五人男」が、桜の美しい背景幕を背に華やかに上演されました。

恵南5地域の名所を盛り込んだ名乗り口上を行うなど、華やかな舞台と迫力ある演技に会場は大きな拍手に包まれ、おひねりも投げられました。

思いがけず歌舞伎を見たことに感激されたツアー参加者もみえました。

戦没者慰霊祭開催

4月5日、東野開発振興会主催の、春の戦没者慰霊祭が開催されました。今年は戦後80年の節目の年でもあります。

保母鎖利会長からは、祖国の安泰を願い、家族、同胞の幸せに思いを馳せながら命を捧げられた英霊に対し哀悼の意が捧げられ、郷土東野の末永い繁栄のため努力していく決意を話されました。



愛林祭開催

4月5日、東野生産森林組合主催の愛林祭が開催されました。

伊藤稔組合長からは、国内外で多発している大規模森林火災の脅威に触れられ、予防のための周知の必要性があることや豪雨など自然災害防止の面からも森林保有の大切さと次の世代に引き継いでいく必要性を話されました。



東野小学校入学式 新1年生21人が新たな一歩

4月8日、東野小学校で令和7年度入学式が行われ、新1年生21名が晴れやかに入学しました。入学式では、緊張しながらも期待に胸をふくらませた子どもたちの姿が印象的でした。今年の新入生は全学年で一番人数が多い学年になるそうです。一年生の皆さんは名前を呼ばれると大きな声で返事をして、元気いっぱいでした。

1年生	21人	4年生	10人
2年生	10人	5年生	17人
3年生	11人	6年生	9人
		合計	78人



東野こども園 新入園児8名が「うさぎ組」に仲間入り

4月8日、東野こども園で令和7年度の入園式が行われ、新入園児8名が「うさぎ組」として新たな園生活をスタートさせました。

3歳児から5歳児まで17人が早く仲良しになって楽しい園生活を送ってください。

3歳児	8人
4歳児	1人
5歳児	8人
合計	17人



東野開発振興会総会開催 7年度事業スタート

4月23日に通常総会が開催されました。提出された6議案について全て賛成多数で承認されました。

7年度の一般会計予算では、青少年育成会議、小学校・子ども園PTA、消防団など14の団体への交付金200万2千7百円が承認されました。また、文化祭、ほたる祭りなどの開催費用として31万円も承認されました。

これからは団体等で多くの皆さんに参加していただける、楽しい企画が計画されていくことと思います。

皆さんが納めていただいた会費で、地域住民の触れ合いの場が提供され、安全で住みやすい地域となることが期待されます。

振興会役員の任期も残すところ一年となりました。毎回、振

興会長の選出についてはなかなか決まらない状況が続いているため、今年度は10月から推薦委員会を立ち上げ、取り組んでいく議案も承認されました。

問題も多くあるかと思いますが、皆様のご協力をお願いします。



ほたる祭り

東野青少年育成会議主催の「ほたる祭り」を今年も開催します。

東野コミュニティセンターを出発し、明知鉄道東野駅付近から定蓮寺川の左岸を下流に向かって300m程歩きながらホタル観賞を楽しみます。

暗闇に青く光るホタルの幻想的な農村風景をお楽しみください。五平餅や玩具の販売など予定しています。

日時・6月14日（土）

午後6時30分～



マスつかみ

飯沼川でマスつかみを行います。今の子供たちは川で遊ぶ機会が少なくなっています。夏休みの体験としてぜひ参加してみてください。

日時・7月26日（土）午前9時30分～



東野納涼夏祭り

夏の風物詩「東野納涼夏祭り」を開催します。

射的や輪投げなどのゲーム、かき氷などの屋台も出店。大抽選会も行い、最後には打ち上げ花火も行います。家族や友人を誘ってお越しください。

日時・8月9日（土） 午後6時～



車いすの寄贈を受けました

4月25日に遠藤龍美様から東野コミュニティセンターへ車いす2台のご寄贈をいただきました。

地域福祉の向上にご協力いただいたご厚意に心より感謝申し上げます。

寄贈いただいた車いすは、必要な方へ無料で貸し出し、誰もが参加しやすい環境づくりに役立て地域の福祉活動に活用させていただきます。

なお、車いすの貸し出しを希望される方は、東野コミュニティセンターまでご連絡ください。貸し出しは、短期間に限ります。

エコキャップ集めます！

東野コミュニティセンターに、ペットボトルキャップの回収ポストを設置しました。

回収されたキャップは、ユニセフを通して発展途上国の子どもたちにワクチンを届ける活動に役立てられます。

図書返却ポストの上に設置してありますので、ご協力をお願いします。



保古の湖用水物語 誕生100年記念

祝一〇〇年 令和六年は、大井ダムができて一〇〇年目です。節目の記念として、恵那峡の環境整備がなされ、「桜サミット」などのイベントも実施されて盛り上がりました。しかし、一〇〇歳を迎えたのは大井ダムだけではありません。私たちの東野にある「保古の湖」も同じく誕生から一〇〇年目を迎えました。こちらは、祝ってくれる人もいなくてさみしく年を越しました。

「保古の湖」「保古の湖用水」は、私たち、東野に住む者にとってはかけがえのないものです。歴史を知り、価値を知り、これからも大切に守り、維持していかなくてはなりません。

開墾記念碑 上ノ平の交差点のところに「開墾記念碑」があります。これは、大戦後、当時の青年団の皆さんが、地蔵ヶ平、上ノ平、白坂あたりの開墾を記念して建立したものです。

当時の青年団の方々も、保古の湖や保古の湖用水、開墾された田畑などの価値を知り、大切に守らなければならぬ気持ちでこの記念碑を作りました。

記念碑は、大きくて立派な石の板で、その冒頭には、次のように記してあります。

「近時、我が東野村の農業の発展は、上ノ平の開墾におうとすることが多い」

これは、「東野村の農業は、上ノ平を耕したことで、大変進んだものになりました。」という意味です。

一年遅れとなりましたが、一〇〇歳の祝いに「保古の湖用水物語」と題して、一年間、保古の湖に関わる記事を連載をいたします。

これを機に、少しでも「保古の湖用水」に関心をもっていたければ嬉しいです。

第一話 お蚕かお米か

大正五年（一九一六年）の春のことです。阿木飯沼の人で県の技師可知貫一氏が東野村役場に来て、

「保古にため池をつくれば、白坂付近に新田が拓けると思う。しらべてみてはどうですか。」

とすすめました。この話を聞いた村長や村の主だった人々は

「まず調べてみよう」と賛成をしました。

可知技師から話を聞いた村の人々は、
「こんなに大きな工事が東野だけでできるだろうか」と心配しました。

でも、その時は繭の値段が大変下がっていて困っていた時でしたので、多くの人は賛成をしました。何より、田が増えることは、東野の人々にとってうれしいことでした。



県の技師：可知貫一氏

それからすぐ、県にお願いし、しっかり測量してもらい、計画を立てることになりました。

（主な賛成意見）

大正七年八月には、米の値段が上がり、米をたくさん作ろうという気運が高まってきて、「新田を早く作ろう」という意見が強くなってきました。

（主な反対意見）

繭の値段が十年ぶりに上がってきたので、
「米に頼らなくても、養蚕で十分やっていける。田や用水路等はいらない。」等々の意見が出されました。

米が高くなると、田を多くして、米をたくさんとれるようにしたいという気持ちになります。また、蚕のまゆの値段が高くなると、米より蚕を飼いたいという気持ちになります。このように、米とまゆの値段で人々の気持ちは大きく変わりました。

参考文献：東野の昔と今 保古用水沿革史
次回に続く

「東野コミュニティセンターからお知らせ」

7年度事業が本格的に始まります。
自治会長さんをはじめ自治会選出の各種委員の皆さんには何かとお世話になりますが協力お願いします。
振興事務所では、住民票や戸籍謄本、税務証明など取り扱っていますので気軽にご利用ください。また、困りごとなどある場合もご相談ください。